



2017年 武田社長新年挨拶

1月4日午後3時から、放送センターBスタジオにて、「2017年新春パーティー」が開催され、武田社長が以下のような新年の挨拶を行いました。

あけましておめでとうございます。昨年一年間は、TBS社員、グループ関係会社の皆さん、そして出演者の皆様のおかげで視聴率がちょっとずつよくなったような気がします。「TBSさん、良くなったね」という言葉をたびたびかけられる機会が増えていることを実感しています。これも皆さんのご努力のおかげだと深く感謝しております。

■昨年振り返り

さて、昨年を振り返りますと、徐々に徐々に上昇しているなあと思っております。ドラマが話題性のあるものが続きましたし、バラエティは、この曜日のこの時間にはこのバラエティというような定着感も出てきたと感じております。ベルト番組もMCの皆様の顔が視聴者に浸透してきたかなあと思っていますし、実際数字として視聴率が少しずつですが、よくなっていると思っております。これも皆さんの努力のおかげだと深く感謝しているところです。

昨年で象徴的だったのは、やはり火曜日 22時の『逃げるは恥だが役に立つ』でした。これは間違いなく時代を反映し、番組の広がり方も時代を象徴していたと思っております。第一話から最終話まで、一度も視聴率を下げることなく最後は20%台に乗せたということは、新しい時代の番組の作り方、広げ方、見られ方を示したのだらうと思います。SNSで皆さんが「恋ダンス」を踊り、JNN系列の各局も、それぞれユニットを組んで踊って、YouTubeにアップし、中には社長まで踊っている局もありました。我々JNN系列は、全力を挙げてやっていくという、ひとつの姿を見せられたんだらうと思っております。

■「信念」を持つこと。

おかげさまで、私、この4月に、TBSテレビの社長になって3年目に入ります。社長就任以降一貫して、私はこう思って、皆さんにお願いしてきました。「我々は、関係しているすべての人たちに、敬意を持って接し感謝をし続ける。そのことが大事だらう」と。もうひとつ、仕事の属人化だけは避けようと私は言い続けております。仕事のノウハウとか、知恵とか、これは個人に貯めるものではなく、会社に貯めるものです。そういうことができる会社が強い会社であり、成長していく会社であらうと確信しております。

■変革への提案について

5年前、私が専務時代に、編成構造改革本部を担当し、レポートを作ったことがありました。その際、TBS社員および関連会社の皆さんにアンケートをとり、TBSの弱点を指摘し

でもらいました。これは唾然とするような結果でした。私は社長に就任するとき、これを踏まえて TBS の弱いところ、だめなところをひとつひとつつぶしていけば、間違いなく TBS は上昇気運に乗ると確信して、ひとつひとつ実行しているところです。

ここで皆さんにひとつ提案でございます。この1月初頭から、TBS 社員、グループ社員にアンケートをさせてもらいたいと思います。今回のアンケートは、TBS の弱点を指摘するのではなく、次の時代に向けて TBS が強くなるためには何をしたらいいのか、何をすべきか、という提案型のアンケートをお願いしたいと思います。1月に皆さんに通知し、2月中旬ぐらいまでにまとめて、その中からピックアップできる案件であればすぐにプロジェクトを作って始めたいと思っています。私は今 TBS グループ会社の皆さんとのランチ会を続けております。この次は、その提案にもとづくメンバーたちとランチ会、ミーティングを続けていきたいと考えています。ぜひ皆さん奮って、この TBS がよくなるための提案をお願いしたいと思います。

■研修について

去年から研修に力をいれると言い、実際に始めています。TBS 社員だけでなくグループ会社も含めた「管理職研修」などさまざまな研修を始めており、今年はより強固なものにしたいと考えております。皆さん方にもいろんな機会をもってもらって、より自分を高めていくことを続けていかなければいけないと思っています。

■ステージア라운드

最後に、いよいよ3月30日に「IHI ステージア라운드東京」が豊洲にオープンします。ここで行われる事業の成功は TBS の上昇気運をさらに押し上げていくと確信しています。会社挙げての協力をお願いいたします。今年も「From TBS」、TBS グループ一致団結して頑張りましょう！

以上